

日本共産党 梶原三郎議員 子ども医療費助成の拡充を求める

# 通院も中3まで無料に

日本共産党の猿渡（えんど）久子は、別府市議4期16年の経験を活かしていつそみなさんのお役にたきたいと今年4月の県議選に挑戦しましたが、次点に終わりました。  
4年後は必ず県議にと決意しています。今後ともよろしくお願いします。

## 共産党は一貫して充実求める

日本共産党はこれまでも一貫して子どもの医療費助成制度を充実するよう求め、少しずつ充実していきました。今の大分県の制度は、通院は就学前、入院は中3まで助成し、1回5000円の自己負担（回数制限あり）というものです。別府市は独自に助成し入院・通院とも無料にしています。

日本共産党の梶原三郎議員（大分市選出）は、7月22日県議会一般質問で、さらに、9月30日の議案質疑で、子ども医療費助成制度を拡充し、通院も中学卒業まで無料にと求めました。



9月30日県議会で質問する梶原議員

## 国は予算を出さず県と市で

この問題は、国の態度がネックになっています。国には医療費助成の制度がなく、地方自治体が独自に県と市で負担して助成しています。全国すべての自治体に広がり高校生まで助成する自治体も増えています。

しかし、国は予算を出さずどこか、立て替え払いが必要ない現物給付の制度にしている自治体には国庫負担を減らすというペナルティ措置をしています。大分県はそのために子ども医療費の分だけでも1億円の負担をしています。

（裏面に続く）



2014年8月の政府レクチャーで市民の実態を厚労省職員に訴えるえんど久子。  
国会内の会議室にて

県議をめざす 日本共産党

# えんど久子ニュース

発行責任者 えんど久子  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No. 2  
2015.10.20.

# 子どもの貧困化がすすむ中

# 医療費無料化で子育て応援を

## 毎年 厚労省と話し合い

えんど久子など大分県の日本共産党は、毎年上京し、せめてペナルティをやめるよう厚生労働省に求めてきました。全国知事会なども同様に求めてきました。そして、今やつと減額のペナルティをやめる方向で議論されています。

## 「議論の入り口」と大分県知事

9月30日、中学生までの通院医療費無料化を求める堤栄三県議の質問に、広瀬県知事は「減額措置が廃止となると、そういう議論の入り口に入ることが出来る。また制度の在り方、財源等の議論があると思う」と答弁しました。

不安定雇用が増え貧困化が進む中、今後とも日本共産党は中学生までの通院医療費無料化にがんばります。力をあわせて実現しましょう。



2014年政府レクチャーで  
国会議事堂前でのえんど久子

## 日本共産党

# 県に要望書を提出



大分県財政課長と話し合う林田澄孝県委員長・堤栄三県議・山下かい参議員大分選挙区予定候補・えんど久子日本共産党別府市県政対策委員長など。

2015. 10. 9. 大分県庁にて

日本共産党県委員会と県下の議員などは、毎年大分県の来年度予算について要望書を提出し、後日話し合いを持っています。

10月9日に約290項目にわたる要望書を提出。県の友友財政課長に手渡し、短時間話し合いました。えんど久子は「今の子ども達は友だち関係で悩みをもつなどとても大変で、30人学級やスクールカウンセラーなどの必要性を実感している」と話し、フランクな話し合いとなりました。

10月29日、県下の共産党議員などが要望の各項目について各課と話し合いを行います。